

平成29年度第5回政策会議

日時 平成30年2月6日（火） 10:25～10:45
会場 市長会議室
参集者 工藤市長 中林副市長 片岡副市長 川越企業局長 辻教育長
小野総務部長 入江財務部長

2 はこだて未来A Iビジョン（素案）について

◎対応 種田企画部長 佐藤企画部次長 田畑計画推進室長
三原計画調整課長

◆ 議題の趣旨 ◆

はこだて未来A Iビジョン（素案）について協議しました。

◆ 協議の結果 ◆

原案のとおり，本件の内容は了承されました。

◆ おもな発言 ◆

■三原計画調整課長

ビジョンの構成は、「ビジョン策定の背景」と「基本的な方針と主要な施策」の2つとなっている。

「ビジョン策定の背景」については、函館市を取り巻く状況と函館市におけるA I・I o T・ビッグデータに関する現状に分けて記載している。

函館市を取り巻く状況として、人口減少の進行と人手不足が深刻化していること、労働生産性の向上が必要であること、若年層の雇用の場の確保が必要であることがある。

函館市におけるA I・I o T・ビッグデータに関する現状として、ポテンシャルと動向に分けて記載している。ポテンシャルについては、未来大学や高専等のA I等の先端技術に関する研究者が集積しており、人材の育成や人材を輩出していること、産学官金の連携により事業機会の拡大に取り組んできたこと、漁業や製造業等の様々な分野においてデータ化できる現場を有していることがある。動向については、未来A I研究センターにおいて、A Iの地域産業への普及やA Iの応用に関わる共同研究が行われていること、医師会、未来大学、高専において包括連携協定が締結されたこと等がある。

「基本的な方針」については、函館市を取り巻く状況等を踏まえ、「函館の地域特性を生かしたプロジェクトの創出・推進」、「ノウハウの蓄積と人材の育成」、「まちづくりの課題解決と最先進分野の確立」の3つを掲げている。

「主要な施策」については、3つの基本的な方針に基づき、「重点的かつ速やかに取り組む施策」と「継続的かつ横断的に取り組む施策」に分けて記載している。

「重点的かつ速やかに取り組む施策」については、地場産業へのA I関連技術の活用、医療・介護・健康関連分野への活用の促進、産学官金の連携によるA I関連産

業の集積の3つを記載している。「継続的かつ横断的に取り組む施策」については、AI関連技術への理解増進や特色ある教育プログラムの展開による人材の育成等、6つを記載している。

なお、来年度からは、産学官連携のもと推進会議を設置し、個別プロジェクトや関連する取組について情報共有を図るとともに、庁内においても推進体制を構築し、未来大学や高専等の先生方から助言をいただきながら、各部が抱えている課題等の解決や効果的な施策に繋がりたいと考えている。

■種田企画部長

今後は、本会議で了承後、パブリックコメントを実施し、今年度中の成案化をめざしている。

■工藤市長

本ビジョンを具体的に推進していく主体はどこになるのか。

■種田企画部長

企画部が事務局となる推進会議を設置し、そこで情報共有を行いながら進めていく。

■工藤市長

AIやIoTに取り組むことは、AI等の産業集積による新たな産業の創出と様々な地元産業の生産性向上という2つの側面があると思うが、まずはどちらに重点を置くのか。

■種田企画部長

他分野での応用の可能性もあるので、異物混入検査システムの開発等の具体的な活用事例を積み上げていくことがまずは必要なのではないかと考える。

本ビジョンをつくることにより、企業誘致に際してもPRにつながると考える。

■工藤市長

ビジョンがあることにより、関心の高まりや視察にも繋がると思う。

■種田企画部長

他に意見がないようなので、原案のとおり了承とさせていただきます。